

製品名: KAP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85726**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 89 kDa; Observed MW: 100 kDa

抗原情報

遺伝子名	KAP1 TRIM28; KAP1; RNF96; TIF1B; Transcription intermediary factor 1-beta; TIF1-beta; E3 SUMO-protein ligase TRIM28; KRAB-associated protein 1; KAP-1; KRAB-interacting protein 1; KRIP-1; Nuclear corepressor KAP-1; RING finger protein 96; Tripart
別名	
遺伝子 ID	10155.0
SwissProt ID	Q13263
免疫原	ヒト KAP1 の合成ペプチド

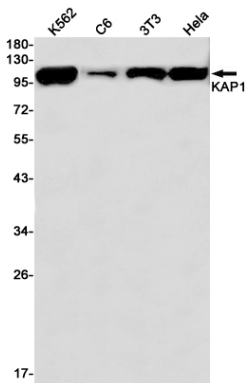
背景

KRAB ドメイン含有ジンクフィンガータンパク質 (KRAB-ZFP) の核コリプレッサー。ヌクレオソームリモデリング・脱アセチル化 (NuRD) 複合体のサブユニットである CHD3 と、ヒストン H3 の Lys-9 を特異的にメチル化する SETDB1 (H3K9me) を KRAB 標的遺伝子のプロモーター領域にリクルートすることで、遺伝子サイレンシングを誘導する。

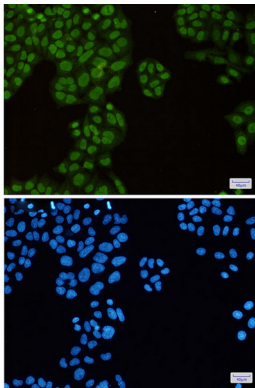
研究分野

-

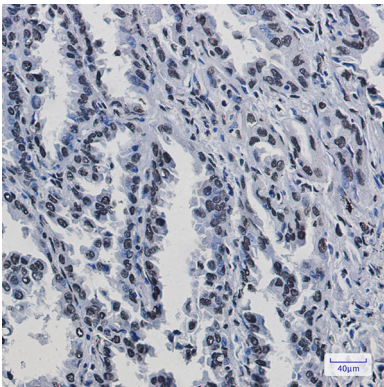
画像データ



KAP1 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の KAP1 のウエスタンブロット分析。



KAP1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の KAP1 (緑) の免疫細胞化学分析



KAP1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。